

## 情報処理 I (2020 年度) 第 1 回目

### 1 情報処理 I で学ぶこと

この講義の目標は、数学の勉強（さらには応用，研究）で必要となるプログラミングの基礎技術を習得することです。講義では以下の項目について学習します。

1. 計算機実習室のコンピューターの操作。（今年は5月11日以降に先送り）
2. プログラミング言語 Python によるプログラミング
3. 数式処理システム SageMath によるプログラミング
4. コンピュータによる微分積分，行列計算，データの可視化

### 2 授業の受け方と注意事項

以下は一般的な注意事項です。今年は新型コロナウイルスの影響で例外的な年ですので，以下の注意事項は適宜柔軟に解釈してください。

- (1) 講義ではプリントを配ります。授業内容はほとんどが配布するプリントに書いてあります。プリントは**バインダー**などで整理し，講義のときには前回までの分も持ってくること。
- (2) この講義のホームページはこちらです。

<http://math.shinshu-u.ac.jp/~isasaki/classes/2020dp1/index.html>

講義のプリントやファイルはこのページからダウンロードすることができます。

- (3) 講義では配布するプリントの要点だけを解説するので，それ以外の部分は各自で読んでください。
- (4) 作業方法がわからなくて困っている人がいたら積極的に教えてあげましょう。
- (5) プリントを読んでもわからなければ，周囲の友人や TA（ティーチングアシスタント）に聞いて解決しましょう。
- (6) (毎回とは限りませんが) 課題を出します。課題は eALPS から提出します。課題を提出したら退出してかまいません。
- (7) 課題は自力で解くことが基本ですが，わからない場合は周りの人に (解き方を) 教えてもらいましょう。
- (8) 提出した課題については，それが内容を理解していないのが明らかなコピー&ペーストの場合は 0 点となります。動作確認をせずに他人の間違った答えをコピーした場合などがこれに相当します。
- (9) 教育実習などで講義に出席できなかった場合でも，インターネットで課題を提出することが可能です。
- (10) 課題の提出期限は講義日からおよそ 5 日に設定していますが，課題によって提出期限は異なります。講義の時間中に eALPS にアクセスして課題の提出期限を確認してください。提出期限を過ぎた課題の提出は受け付けません。
- (11) 計算機がフリーズしたり，USB メモリが破損したりして，作成したデータが消えてしまうことがあります。データ損失のリスクを避けるために，作業中でも頻繁にファイルの保存を行い，大事なデータは，他の場所に保存しておきましょう。
- (12) 小テストを何度か行います。これを行うときは一週間前にアナウンスします。
- (13) [成績評価について] 出席率が 2/3 未満の場合は，成績は不可になります。公欠の場合は，課題を提出することで出席とみなします。課題と小テストを合わせて 85 点で採点し，出席回数を加えたものがこの講義の点数になります。